

戸畑区役所における戦略的な取組について

ポテンシャル

- ・コンパクトなまちに特色ある教育機関が集積(1大学、6高校)する「文教のまち」

課題

- ・「文教のまち」のポテンシャルを活かしきれていない
- ・若者の声をきめ細かく聞けていない

現在

- ・区役所に戦略ライン新設
- ・若者の意見やアイデアの具体化、バージョンアップに向けて奔走中

STEP 1

- ・学校と区役所の連携の枠組み作り

STEP 2

スタート

若者意見の拾い上げ(本庁コラボ)

文教祭(合同学園祭)小規模開催(大学内)

大学・高校連絡会議立ち上げ

R8 バージョンアップ

STEP 4

- ・戦略予算の活用

STEP 3 具体化

- ・若者の意見を掛け合わせた「まちづくり」「賑わいづくり」

公園で3on3の社会実験(本庁コラボ)

文教祭を規模拡大(街なか開催)

公民連携イベント開催

令和7年度の具体的な取組み

★アーバンスポーツ(3on3)を求める若者の声

★若者が地域に入り込み地元説明等を実施

★民間イベントとタイアップした3on3大会を開催。にぎわいの相乗効果！

(汐井町公園)

★駅前・街なかの公園にバスケットゴールを仮設し社会実験を実施！

若者 × 地域

自治会説明・アンケート周知



高校生による説明・ポスティング

若者 × 民間

3on3大会1,000人来場



小学生から高校・大学・社会人が参加

社会実験9日間

社会実験(10/5~10/13)



利用の様子

社会実験から見てきたこと

★バスケットゴールのニーズ把握(利用数調査)

○小学生から社会人まで多世代にわたって利用実績あり。利用者間の交流もあった。

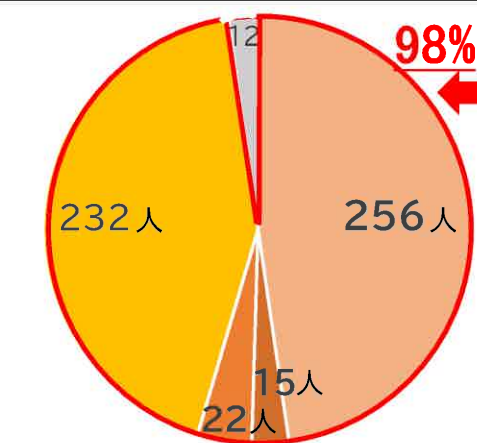
○359人[※]利用（日平均 約45人）※キックオフイベント日を除く8日間

★アンケートからの若者の声・地域の声

アンケート回答者

	回答数	割合
学 生	416	77.2%
社会人	102	18.9%
その他	21	3.9%
合 計	539	

バスケットゴールのニーズ状況



■ 常設希望
■ 条件付き希望
■ イベントなど期間限定希望
■ どちらでもよい
■ 設置してほしくない

	回答数	割合
常設希望	256	47.7%
条件付きで常設希望	15	2.8%
イベントなど期間限定希望	22	4.1%
どちらでもよい	232	43.2%
設置してほしくない	12	2.2%
合 計	537	

※未回答2件除く

社会実験の良い点・困った点

◇良い点

- ・地域や公園が賑やかになった
- ・身近に身体を動かせる環境ができた
- ・若い人が公園を利用するようになった
- ・利用者間で新たな交流ができた

◇困った点

- ・特にない
- ・ボールの飛び出し防止対策
- ・設備の不足(照明、ベンチなど)
- ・利用者が多くゴールが利用できない
- ・ボールの音や利用者の声、ゴミが気になった(夜間騒音等)

※上位のものを抜粋

今後の展開1

★バスケットゴールの常設に向けて



○利用者のニーズは確認できた
○ルール、マナー、設備の改善を
求める声があった

課題解決に向けた検討
予算要求に向けた検討

若者の声を拾い上げ、
賑わいづくりや地域
づくりにつなげていく

◇バスケットゴールの社会実験の実現により、若者から生の声

◎私たちの**意見**が本当に**カタチ**になる！

◎私たちの意見で**賑わいづくり**や**地域づくり**に**貢献**することができる

◎若者同士が**連携**することで何かが変わる、うごく！



今後の展開2

★「文教のまち」のポテンシャルを活かした取り組み

